

ココロ、トキメク、ヨッカイチ

広報

よっかいち



YOKKAICHI CITY PUBLICITY PAPERS

2026

1

January



- 02 【特集】 部活動の新しいカタチ みんなのブカツ
08 よくかむことはいいこといっぱい！
09 もったいない！使い切りで地球を救おう

- 10 きらり四日市人 「認知症フレンズ」会長 渡辺司郎さん
11 人権のひろば／市長の全力取材！
12 そらんぽへ行こう／文化財さんぽ



部活動の新しいカタチ みんなのブカツ

中学校生活の楽しみの一つ、「部活動」。これまで中学校の教員が顧問となり学校主体で行ってきましたが、急速な少子化や教員の働き方改革を背景に、地域が主体となる仕組みに移行する動き「部活動の地域展開」が、全国的に進んでいます。本市でも中学校の休日に行う部活動を地域主体の活動へ展開するため、さまざまな取り組みを始めています。



Q 地域クラブ 「みんなのブカツ」とは？

A 四日市市教育委員会が認定した地域クラブのこと
で、中学生が安心して活動できるよう、四日市市地
域クラブ活動ガイドラインなどに示された一定の基
準を満たしています。



なぜ「地域展開」が必要なのか

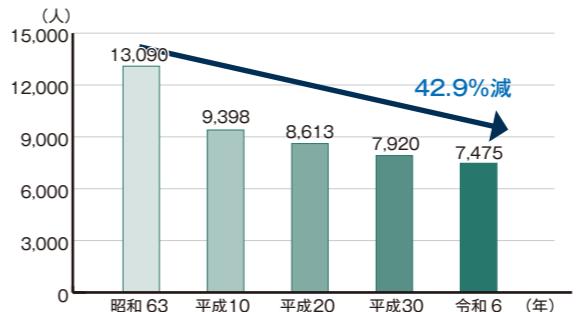
体力・技術の向上だけでなく、集団活動の中で責任感・連帯感を養うことができる部活動は、教育面で大きな意義を持ちます。しかし、現在のままでは続けていくことが難しくなっています。

続けられない理由 1

希望する活動ができない

市内 22 中学校には、約 220 の部活動がありますが、少子化による生徒数と教員数の減少で、廃部や休部になる部活動が増えています。

市内中学校生徒数の推移 (昭和 63 ~ 令和 6 年)



続けられない理由 2

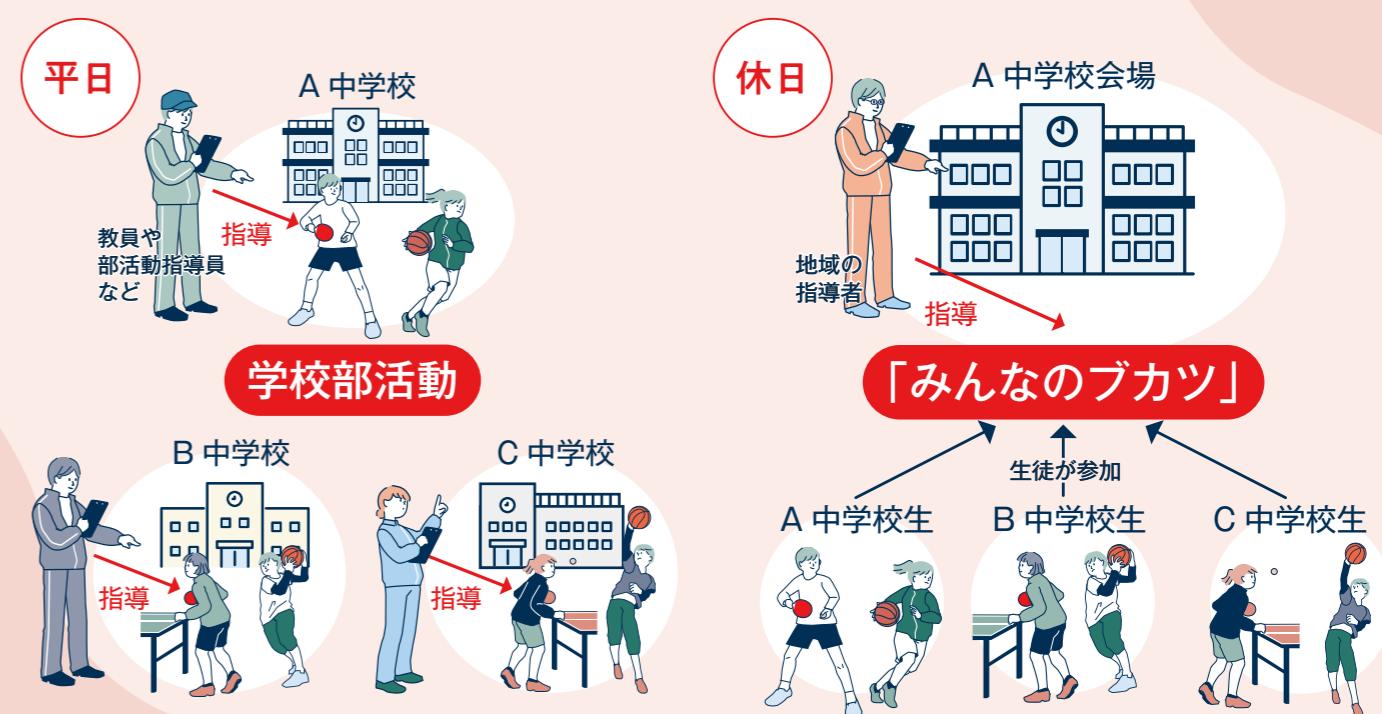
増え続ける教員への負担

部活動指導、休日の練習や大会が、教員の長時間勤務の要因のひとつとなっています。また、指導はやりがいもありますが、各種目の指導経験や専門性がない教員にとっては、特に大きな負担になることがあります。



令和8年秋、休日の部活動は終了し
地域クラブ「みんなのブカツ」へ移行します

平日は自分の通う学校に設置された部活動に参加し、休日は地域クラブで活動をします。こどもたちは自分に合った種目やチーム・団体を選び、学校の枠を超えて集まった仲間と共に目標を持って活動できます。これまでの学校部活動の良いところは残し、新たな仲間やチーム・団体で活動する。それが、地域クラブ「みんなのブカツ」です。



地域展開の今とこれから

これまでの市の取り組み

令和5年度から「総合型地域スポーツクラブとの連携」と「拠点型活動」の2本柱で、実証事業に取り組んできました。今年度は、五つの総合型地域スポーツクラブとの連携、16種目の拠点型活動を行い、総勢1,500人を超える生徒が活動しています。来年度には、活動頻度や活動場所をさらに充実させ、生徒たちの活動の選択肢を増やしていきます。

令和7年度

総合型地域 スポーツクラブとの連携

既存の総合型地域スポーツクラブが中学生の休日の活動を受け入れる

活動場所 各クラブが使用する施設や学校施設

指導者 各クラブの指導員
実施種目 クラブによる

拠点型活動

各種目の協会・連盟などが主催し、市内に一つ以上の拠点をつくって活動

活動場所 市内スポーツ・文化施設、学校施設など

指導者 社会人指導者、退職教員、兼職兼業を希望する教員

実施種目 軟式野球、剣道、柔道、ハンドボール、テニス、サッカー、バスケットボール、卓球、バレー、ソフトテニス、水泳、バドミントン、陸上競技、ソフトボール、吹奏楽、合唱

令和8年度
みんなのブカツ

新たにできる地域クラブ

これからの動き

	令和7年度		令和8年度		令和9年度	令和10年度以降
	10月～2月	3月	4月～8月	9月～11月	12月	
学校部活動			体験・見学期間	地域展開開始	完全地域展開	
運動系は夏の中体連、文化系は秋のコンクールまで 学校部活動を行い、学校名で大会・コンクールに出場				休日は実施しない		
				平日は学校部活動を実施		
令和7年度の中学2年生	学校部活動に参加					
令和7年度の中学1年生	学校部活動に参加			休日は「みんなのブカツ」として活動・大会参加		
令和7年度の小学6年生	学校部活動に参加			休日は「みんなのブカツ」として活動・大会参加		
				平日は学校部活動に参加		

どこで活動できる？

随時、四日市市教育委員会ホームページなどで、実施種目・クラブ名・活動拠点などを紹介します。また、令和8年の春から地域展開の本格実施までに、見学・体験期間を設けます。いろいろな種目やクラブの活動を見て、どの「みんなのブカツ」に入るかを決めることができます。



本市の目指す地域クラブ『みんなのブカツ』

多くの仲間と活動できる

チームの人数が充実

試合形式の練習などもできるようになる



さまざまな種目から選べる

部活動



地域クラブ



- 学校の垣根を越えて自由に選べる
- 今までの部活動にはなかった種目を選べる

誰もが楽しめる



より上を目指してしっかり練習したい



ビギナーも

生活スタイルに合わせて活動できる

平日



平日ONLY



平日と週末で種目を変える

週末

地域展開のメリット

こども

- 専門的な指導が受けられる
- 活動の選択肢が広がる
- 人間関係が広がる

それだけじゃない！

- 地域の人とこどもたちが交流する機会が増え、地域の活性化につながる
- 教員の働き方改革を推進できる

Interview

国の「休日の部活動（運動・文化部活動）における地域展開を進める」という方針を受けて、本市では今まで学校で担ってきた休日の部活動を地域クラブ活動へ展開する準備を行っており、令和8年12月を目標として地域展開を完全実施する見通しです。

学校と地域の連携・協働により、少子化時代にも生徒が希望するスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境づくりを進めています。

教員や生徒・保護者・指導者などさまざまな関係者が、出来る限り負担なく関わることができ、持続可能な活動を目指します。

教育委員会 教育推進課
みんなのブカツ推進室 清水



みんなでつくる、新しい活動のカタチ

部活動の地域展開には、地域の指導者や保護者、教員など多くの人の協力が欠かせません。実際に、地域での活動はどのように行われているのか、指導者や生徒の声を交えて紹介します。



四日市ソフトテニス協会が行う練習会（拠点型活動） 四日市中学生ソフトテニススクール

中学校に入学してからソフトテニスを始めました。苦手なこともありますけれど、丁寧に指導してくれるので安心して練習できています。休日はダブルスの練習など、平日の部活動とはまた違う練習内容を取り組めています。他の中学校の人と一緒に練習できるので、友達の輪が広がることもこの活動の魅力です。

内部中学校1年生 飯田さん



この会場での活動に参加するのは2回目です。指導してくれる人が、プレーをよく見ててくれていて、気になったことがあるとすぐに教えてくれるので、上達しやすいと思います。平日と休日、両方でしっかり練習でき、すごく自分の力になっていると実感しています。もっと上達して、いろんな人から注目される選手になりたいです。

内部中学校2年生 田中さん



市内中学校会場での練習



ラケットの握り方など細かく指導



生徒のレベルに合わせた個別指導

南中学校吹奏楽部を母体とした地域クラブ 四日市みなみウインズ

元々、音楽に興味があって学校の吹奏楽部に入りました。担当のホルンは難しいけれど、だんだん音が出せるようになりました。みなみウインズの活動では、いろんな金管楽器を演奏できる指導員の人がいて、一緒にホルンを吹いてお手本を見せてくれるので、実際にどういう音が鳴るのかがイメージしやすく、息の使い方も分かりやすいです。苦手なことを一つづつクリアして、みなみウインズの音楽を、地域の皆さんに届けたいです。

南中学校2年生 葛西さん



以前からピアノを習っていて、他の楽器も演奏してみたいと思い、学校の吹奏楽部に入部しました。3年生になって引退をしましたが、高校入っても吹奏楽を続けたいと思っています。吹奏楽は楽器を練習して演奏するだけではありません。技術を磨く日々の中での、仲間とのつながりや達成感がこの活動の魅力です。たくさんの人に、吹奏楽の楽しさを知ってもらいたいです。

南中学校3年生 柴田さん



図書室での練習。円になってお互いの音を確かめる



地域指導員による実演指導

Interview



四日市ソフトテニス協会の役員を務めているつながりから、ソフトテニスの指導員をしています。中学校からソフトテニスを始めた人でも、きちんと試合ができるように、まずは基礎固めに重点を置いています。複数の指導員で、生徒一人ひとりのレベルに合わせて、「どうすれば上手くなるのか」「どう打てばいいのか」を丁寧に教えています。多くの生徒にテニスの楽しさを知ってもらい、ぜひ続けてもらいたいなと思います。

四日市中学生ソフトテニススクール指導者 吉川さん

Interview

中学校での楽器との出会いが、こどもたちの人生を豊かに広げていくきっかけになってくれればと願っています。楽器を長く続けてもらえるよう、正しい姿勢や呼吸など楽器演奏の基本を大切に、日々指導しています。自分ひとりで楽器を始めるのは大変ですが、「みんなのブカツ」なら、これまでの部活動のように誰もが楽器にチャレンジでき、仲間とともに音と心を合わせ、音楽を楽しむことができます。

部活動の地域展開で地域と学校が協力し、「吹奏楽をやりたい」と思ってくれる四日市のこどもたちの可能性を広げ、音楽の入り口を守りたいと思います。

四日市みなみウインズ指導者（南中学校吹奏楽部顧問）高橋さん



よくかむことはいいこといっぱい！

毎日繰り返す食事、つい早食いになってしまいませんか。

よくかんで食べることは健康への第一歩です。

毎日の健康のために、かむ回数が増える食事を取り入れていきましょう。



よくかむことのメリット



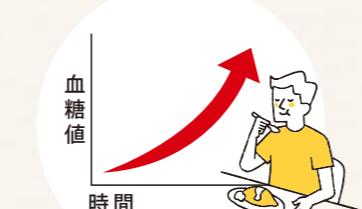
肥満の予防



脳の活性化



消化が良くなる



血糖値の急上昇を抑える

自然とかむ回数が増える「調理」の工夫



皮付きのまま調理する



大きく切る



繊維に沿って切る



硬めに仕上げる



いくつかの食材を組み合わせる

例) ハンバーグに野菜やきのこなどを入れる



量の目安は「1食ごとにいただきグー」

夏休みに「1食ごとにいただきグー」啓発ポスターを募集しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

毎食、自分のげんこつ大1個分の野菜を食べれば、1日に必要な野菜350gを摂ることができます。

「1食ごとにいただきグー」を合言葉に、野菜の量を確認しましょう。

各部門の最優秀賞作品

園児の部



エンゼル幼稚園(5歳児クラス)
中村瑠那さん

小学1~3年生の部



内部東小学校2年
丸山絵麻さん

小学4~6年生の部



川島小学校5年
斎藤成軌さん

中学生の部



富田中学校2年
大川ゆいさん

●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は 健康づくり課 ☎ 354-8291 FAX 353-6385

もったいない! 使い切りで地球を救おう



市のごみ処理には市民の皆さんの税金が使われています。

家庭から出るごみの量が増えると、ごみの処理にかかる費用が増大します。

また、ごみを焼却したときには、温室効果ガスのひとつである二酸化炭素が発生します。空気中の温室効果ガスが増えづけると、地球温暖化の進行にもつながります。

お財布にも環境にもやさしくするために、一人ひとりがごみの減量を意識して生活することが大切です。



デコ活
くらしの中のエコロジー

- 電気も省エネ 断熱住宅
- こだわる楽しさ エコグッズ
- 感謝の心 食べ残しそれ
- つながるオフィス テレワーク

本市は、「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)に賛同し、この運動を推進しています。脱炭素社会の実現には、一人ひとりが自分事として取り組むことが重要です。できることから「デコ活」の一環として生ごみの減量と資源化に取り組んでみましょう。

可燃ごみの約30%が生ごみ

家庭から排出される可燃ごみの中には、食べ残しや賞味期限切れ、調理中に発生した生ごみが多く含まれています。令和5年度に実施した調査では、可燃ごみの約30%が生ごみで、その生ごみのうち約40%は食品ロス(まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品)でした。

市では、生ごみの減量と資源化を目指して、生ごみ処理機の購入補助金の交付や、生ごみ処理を学べるセミナーのほか、余った食品を必要とする人にマッチングする事業を実施しています。自身のライフスタイルに合わせた、ごみの減量手法を探してみましょう。



家庭や企業で余っている食品を、必要とする人にマッチングする「フードドライブ」



生ごみ処理機の活用法を学ぶセミナー



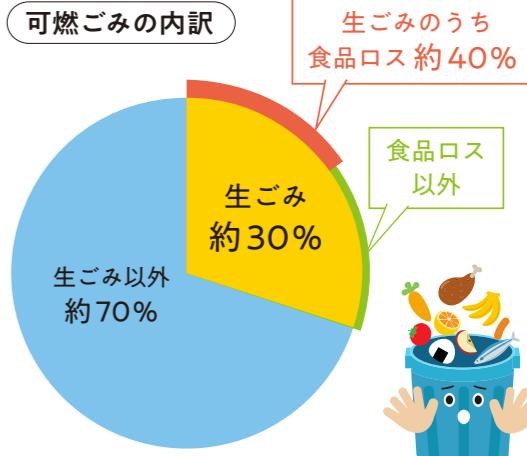
詳しくは、
市ホームページをご覧ください



食品ロス



生ごみ



今日からできる、ごみ減量の取り組み

家庭での「3キリ」

1. 使いきり
2. 水切り
3. 食べきり

生ごみの70~80%は水分。
水切りだけでも
減量効果大!



●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は 生活環境課 ☎ 354-8192 FAX 354-4412

きらり四日市人

認知症の当事者や家族に寄り添う
ボランティア「認知症フレンズ」会長

渡辺司郎さん



認知症の当事者や家族と支え合いながら仲間や友達のように歩むボランティア「認知症フレンズ」（以下、フレンズ）。会長の渡辺司郎さんは、認知症当事者（以下、当事者）の意思を大切にし、やりたいことが実現できるようさまざまな活動をしています。当事者や家族が地域で孤立しないため、認知症への理解の輪を広げ、当事者らに寄り添う社会のあり方についてお聞きしました。

寄り添い、信頼関係を築く大切さ

民生委員をしていた8年前、認知症サポーター養成講座を受講したのをきっかけに、フレンズの一員として活動を始めました。

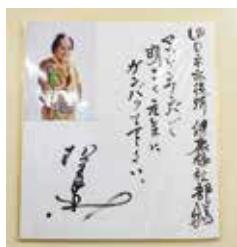
ある日、当事者がトラブルに巻き込まれ困惑していたことがありました。その人とは何度も顔を合わせたことがあったため、私の顔を見ると安心した様子で、ほっとした表情を見せてくれました。



「ステップ四日市」の畑での
園芸活動



松平さんから届いた色紙の報告のため
表敬訪問



松平さんから届いた
メッセージ入り色紙

また、認知症カフェで出会った男性介護者がぽつんと一人でいたので話しかけると、とても喜ばれました。そんな経験から、当事者や家族と日ごろから心を通わせ、気持ちに寄り添い、信頼関係を築けるように心掛けて活動しています。

当事者の想いを通じてみんながつながる

昨年、フレンズの活動でうれしい出来事がありました。それは、当事者の一人が何気なく話した「歌手で俳優の松平健さんのヒット曲『マツケンサンバ』を披露したい」という夢を、9月に開催された認知症市民公開講座で実現できることです。当事者の「やってみたい！」の声に、フレンズの仲間や当事者の家族、支援者が賛同し、皆で一緒に、楽しみながら練習を重ねました。当日の発表は大盛況で、共感の輪が広がったことを実感できました。

また、この活動を知った松平さんから直筆のサイン色紙が届き、一同大喜びしました。

安心できる居場所と一緒に作って一緒に楽しむ

フレンズの活動は、介護予防等拠点施設「ステップ四日市」を拠点にしています。フレンズと当事者が「園芸・畑班」や「認知症カフェ班」など五つの班に分かれ、楽しみながら交流しています。

認知症の診断は、本人にも家族にも大きな衝撃をもたらします。しかし認知症になると「何もできなくなる」わけではありません。私たちフレンズは、当事者が好きなことを続けられるよう、安心できる居場所と一緒に作り、一緒に楽しみたいと思っています。そういう活動が地域にも根付いてくれることを願いながら、これからも当事者の尊厳を大切にする取り組みを続けていきたいです。

1月放送のCTY-FM「よっかいち わいわい人探訪！」でも紹介します。（放送時間は裏表紙へ）

毎月22日は「人権を確かめ合う日」です

人権のひろば

問 こども家庭センター
(TEL) 354-8298 (FAX) 354-8061)

児童虐待のない社会を目指して

オレンジリボン運動を知っていますか。この運動は、児童虐待のない社会の実現を目指す市民運動です。

平成16年に栃木県で幼い兄弟が虐待によって命を落とす痛ましい事件が起こりました。この事件をきっかけに、「カンガルーOYAMA」という団体が、二度とこのような事件が起らないようにと願い、児童虐待防止を目指してオレンジリボン運動を始め、全国に広がりました。

シンボルマークであるリボンのオレンジ色は、こどもたちの明るい未来を表しています。



オレンジリボンを胸につけることで、「保護者だけでなく、社会全体でこどもを育む」という理念を基に子育てを温かく見守り、子育てを手助けする意思を示します。

また、児童虐待の防止等に関する法律で私たちの義務として規定される児童虐待通告もオレンジリボン運動と同様、「社会全体でこどもを育む」という理念に基づいています。「虐待かも」と感じたときには、迷わず児童相談所虐待対応ダイヤル「189」にお電話いただくな、こども家庭センターへお知らせください。



あけましておめでとうございます

昨年末は、四日市港に最新の大型客船飛鳥Ⅲが寄港したり、中心市街地で円形デッキ「よんまるテラス」の供用を開始したりするなど、明るい話題がありました。一方で、9月の大霖に伴う災害を受け、改めて、災害に強いまちをつくる取り組みを進めています。

さて、今年は、2月1日に中心市街地や開放的な海の景色を楽しめる「第1回 四日市みなとランフェスティバル」を開催します。北勢地域唯一のロードレースで、3,000人を超える申し込みがあり、今から開催がとても楽しみです。

また、中央通り再編事業は、円形デッキと



四日市港に初寄港した、朝日を浴びる飛鳥Ⅲ

近鉄四日市駅をつなぐ直線デッキの工事が進んでいます。6月には、直線デッキが完成し、あすなろう四日市駅までがシームレスにつながります。

そして、こどもたちが、優れた文化芸術やスポーツに触れることができる「こどもみらいクーポン」がいよいよ動き出します。全国でも例がない、本市独自の取り組みで、多様な体験を通じてこどもたちの成長につながる仕組みとしたいと考えています。

今年も、新しい事業へ果敢に挑戦するとともに、これまで進めてきた事業が実を結ぶよう、全力で市政に取り組んでまいります。

そらんぽへ行こう

問 博物館・プラネタリウム (TEL 355-2700 FAX 355-2704)

企画展

「昭和のくらし 昭和のまつり」

市立博物館では3月1日(日)まで、昭和初期から太平洋戦争を経て大きく変化した激動の暮らしを紹介する企画展「昭和のくらし 昭和のまつり」を開催しています。

本展は、電気・ガス・水道がまだ家庭では便利に使えなかった「昭和初期」と、電化製品が少しづつ家庭に入り、暮らしが豊かになりつつあった「昭和30年代」の二つのテーマ展示を中心に、暮らしの道具を切り口として、人々の生活がどのように移り変わったのかを紹介します。



鯨船山車模型

また、いつの時代も暮らしが彩ってきたものの一つに祭りがあります。そこで、今回は戦前から四日市で最大の祭礼として多くの人々に親しまれた「四日市祭」を取り上げます。練り物や豪華な山車が出て最盛期を誇った戦前の四日市祭と、四日市空襲で山車などが焼失したものの、一部復興した戦後の四日市祭を比較しながら、その歴史をたどります。

当時の貴重な写真や実際に使用されていた道具を展示していますので、ぜひご覧ください。

文化財さんぽ

問 文化課 (TEL 354-8238 FAX 354-4873)

海山道神社「狐の嫁入り神事」

「みやまどさん」と呼ばれ親しまれている海山道神社では、毎年節分の日に厄祓行事として「狐の嫁入り神事」が行われ、大勢の人々にぎわいます。

これは海山道神社の神様の使いである福德家の娘狐・福子が、助四郎家の跡継ぎ狐である助太郎のもとへ嫁入りする道中を表しています。

新郎・新婦は仲人・親族を伴って練り歩き、参道の鳥居をくぐって本殿前の広場に設けられた結婚式場に向かいます。



狐に扮して祝儀袋をまく新郎・新婦

式場では、神職によるお祓いの後、仲人狐の「コンコンコン」の発声で式が始まります。三々九度の盃が交わされた後、参拝者に祝儀袋がまかれます。祝儀袋には、お守りとして持っているとお金を得ると言われる神葉が入っています。

華やかな婚礼衣装に狐の面や尾を付けた姿で結婚式を挙げ祝儀袋をまく様子は、見学する人々に幸福感を与えています。ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。



有料広告

※広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します

3歳になら鈴鹿サーキットパークへ!
3歳バースデー・デビューインビテーション
3歳のお誕生日から1か月間。

パークパスポートの料金
**ご本人無料 + 同伴のご家族
4人まで半額**

※事前申込が必要。※レース開催日・特定日を除く。※翌月の同日まで。翌月に同日が存在しない場合は、その翌日(1日)まで。
※料金は変動的ため、来場日の料金をご確認ください。

©TEZUKA PRODUCTIONS SUZUKA CIRCUIT PARK 三重県鈴鹿市稻生町 7992 TEL.059-378-1111
※内容は予告なく変更される場合がございます。

詳しくはこちら

建設職人なら誰でも入れる組合です
けんろう

建設労四日市支部 **随時加入者募集中**

三建国保 組合独自の建設労働者の健康保険

出産育児一時金（50万円）
葬祭費（本人10万円・家族7万円）
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助（3万3千円）
脳ドックに対する補助（2万円）など

建労四日市支部のホームページを開設しました
下記URLまたはQRコードからご覧いただけます。
<https://www.kenro-yokkaichi.jp/>

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 **電話(059)354-1531(代)**

創業1848年 永年の信用と豊富な実績

株式会社 ひじや本店

光倫会館
四日市市営式場協力店(規格葬儀)

24時間365日 受付 年中無休で承ります

事前相談
0120-114248

四日市光倫会館 富田光倫会館
光倫会館 桜ホール 津光倫会館

[本社]四日市市松本北大谷2015(北大谷斎場口)

入居者募集

介護従事者がより良い介護を目指すため集い、設立いたしました

利用者と地域に寄り添うための4理想 よりそう

1 利用者のくつろぎと安心
気兼ねなく一人の時間をくつろぎ、必要な際は人とかかわり、安心して過ごせる施設を目指します。

2 人が育つ環境づくり
より良いサービスを目指すため、常に考え、話し合う環境をつくり、研修等、不断の教育啓蒙に努めます。

3 地域とかかわりが続く
常に地域とかかわりを持ち、ひらかれた施設づくりを目指します。

4 安定した運営
「入居者」「スタッフ」「地域」に向け、質の高い安定したサービスを維持するため、適正な利潤の確保に努めます。

carehills

いちごいちえ
一語一笑を大切にする高齢者施設グループ
ケアヒルズ

ひなが事務所
昨年OPENしました!!

訪問看護事業所
居宅介護支援事業所

ケアヒルズ四日市
サービス付き高齢者向け住宅
デイサービス
居宅介護支援
訪問介護

ケアヒルズ桑名
住宅型有料老人ホームみらくる
居宅介護支援

ケアヒルズよごう
サービス付き高齢者向け住宅
デイサービス

お問い合わせお申込みはこちらから▼

なんでもお気軽にご相談ください 株式会社ノースアップ 三重県四日市市大字日永5380-157 TEL:059-340-3010

1月

市の情報発信

CITY INFORMATION



テレビ

CTY (地デジ 12ch)

- 四日市市からのお知らせ
時 1月9日金、1月23日金
2月6日金
12:30／18:20／20:30

三重テレビ (地デジ 7ch)

- 「Mie ライブ」内
旬感☆ Mie コーナー
時 2月2日月 18:00ごろ

ラジオ

CTY-FM (FM76.8MHz)

- マンスリーよっかいち
時 第1・3月 8:54／14:54
- ALO ! YOKKAICHI
時 月 19:54
- なるほど!防災
時 月 17:30／木 8:30

- よっかいち わいわい人探訪!
時 第2・4月 8:54／14:54
- 人権を確かめあう日
時 毎月22日(1月は、7:30／
11:54／13:54／16:30／
18:30)

東海ラジオ (AM1332kHz / FM92.9MHz)

- 1・2・3
四日市メガリージョン !! 8
時 月 20:00

友だち募集中

四日市市
LINE
公式アカウント
@yokkaichicity



- 人口 305,232人
[11月末現在(前年比-1,382)]
- 火災件数 7件
[11月分(前年比+2)]
- 交通事故件数 902件
(11月分)

ウェブ／アプリ

ホームページ

四日市市ホームページ

<https://www.city.yokkaichi.lg.jp>



広報紙

マイ広報紙

- 自動翻訳機能
(ポルトガル語、ベトナム語ほか20言語)
- 自動音声読み上げ



マチイロ



Lorcle

「四日市市」
を選択



SNS

Facebook



X



YouTube



Instagram



編集後記

特集に関するこぼれ話



少子化が進む中で、中学校の部活動は今、新たなかたちへと変わりつつあります。今回特集した休日部活動の地域展開は、部活動を「縮小」として捉えるのではなく、地域の力を生かしてこどもたちの選択肢を広げる前向きな取り組みです。学校の枠を越えて多様な大人や仲間と出会い、自分の「好き」や「挑戦したい」に出会える機会が増えていくことは、大きな意味を持つのではないでしょうか。こどもたちの可能性が、地域とともにさらに広がっていくことを期待しています。(服部)

広報よっかいち1月上旬号 No.1684 (令和8年1月10日発行)

編集・発行／四日市市広報マーケティング課

〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号 ☎059-354-8104(総合案内) 印刷／水九印刷株式会社

UD FONT
by MORISAWA